

2011年4月4日

広域科学科 学生各位

広域科学科 学務委員長
開 一夫

「外国語論文講読Ⅱ」履修申込・登録について

外国語論文講読Ⅱの履修を希望する学生は、以下の要領で履修**申込・登録**を行ってください。担当教員・講義内容等は別紙「講義内容一覧」を参照のこと。

開講曜限・教室が一覧に記載されていないものについては、申込締切後、掲示または担当教員よりメールで連絡します。

記

- 1) **履修申込** 申込用紙に学籍番号・氏名・所属・連絡先等を記載

申込締切：4月8日（金）16:00

申込場所：広域科学科事務室（15号館107号室）

- 2) **開講曜限の決定** 担当教員と受講希望者で相談の上開講曜限を決定

連絡方法：履修申込をした学生に対し、掲示または担当教員からメールで連絡する

- 3) **履修登録** 通常の科目登録と同様

〔 web 履修登録期間：学部生 … 4月18日（月）～22日（金）
大学院生… 4月11日（月）～19日（火） 〕

講義内容一覧

2011年度夏学期 広域科学科・広域システム科学系

担当教員	科目番号・科目名	講義内容	曜限 教室
金井 崇	学部 0861074_ 外国語論文講読Ⅱ	<授業の目標・概要> 外国語の書籍および外国語の研究論文を材料にして輪講を行う。	火曜6限 15-409
	修士 31M282-0110S 基礎システム学輪講Ⅲ	<授業計画> 輪講開催の有無や内容に関しては、別途掲示する。	
	博士 31D282-0110S 基礎システム学輪講Ⅲ	<教科書><参考書> 開講時に指示する。 <関連ホームページ> http://graphics.c.u-tokyo.ac.jp/	
品川 高廣	学部 — —	<講義題目> 現代的オペレーティングシステム	
	修士 31M282-0130S 基礎システム学輪講Ⅴ	<授業の目標・概要> あらゆるコンピュータの基盤となるソフトウェアである「オペレーティングシステム」の基本構造の理解を目的として、教科書を輪講形式で読む。	
	博士 31D282-0130S 基礎システム学輪講Ⅴ	<授業計画> 履修者の背景知識を考慮して決定する。 <授業の方法> 輪講形式でおこなう。 <教科書> (Required Textbook) Modern Operating Systems (3rd Edition), Andrew S. Tanenbaum, Prentice Hall. (予定)	
山口 泰	学部 08610741 外国語論文講読Ⅱ	<授業の目標・概要> 人間の視覚情報処理や計算機による画像・形状処理に関する英文の教科書ないし参考書を輪読する。	火曜5限 15-409
	修士 31M282-0290S 情報システム学輪講Ⅰ	<授業の方法> 授業参加者から担当者を決めて教科書ないし参考書を輪読する。	
	博士 31D282-0290S 情報システム学輪講Ⅰ	<教科書> 講読対象の文献については、初回に参加者の意見を聞きながら決定する。	
山口 和紀 柏原 賢二	学部 — —	開講せず	
	修士 31M282-0310S 情報システム学輪講Ⅲ		
	博士 31D282-0310S 情報システム学輪講Ⅲ		
山口 和紀 金子 知適	学部 — —	開講せず	
	修士 31M282-0330S 情報システム学輪講Ⅴ		
	博士 31D282-0330S 情報システム学輪講Ⅴ		
山口 和紀	学部 08610740 外国語論文講読Ⅱ	<授業の目標・概要> 英語の文献を読みこなす能力を身につけるとともに、文献の内容も理解する。	
	修士 31M282-0740S 複合系計画学輪講Ⅰ	<授業計画> 初回に割り当てを行い、2回目以降は輪講形式で進める。	
	博士 31D282-0740S 複合系計画学輪講Ⅰ	<授業の方法> 輪講形式で、受講者が発表を行い、質疑応答を行う。 <履修上の注意> 発表者以外も読んでくることが原則である。準備の時間を確保しておくこと。 <関連ホームページ> http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/~yamaguch/pub/kouiki.kagaku	
柴山 悦哉	学部 — —	<授業の目標・概要> 膨大な量の観測データを分析することで新しい科学の発見が導かれるケースが近年増えている。このようなスタイルの科学を e-Science, Data Intensive Science などと呼ぶ。この輪講では、Data Intensive Science の現状の概観を目的とする。	
	修士 31M282-0760S 複合系計画学輪講Ⅲ	<授業の方法> The Fourth Paradigm: Data-Intensive Scientific Discovery	
	博士 31D282-0760S 複合系計画学輪講Ⅲ	(http://research.microsoft.com/en-us/collaboration/fourthparadigm/) の一部の章の輪講を行なう予定である。	
中村 政隆	学部 08610742 外国語論文講読Ⅱ	<授業の目標・概要> マトロイドという概念は、線形代数での線形独立・従属を一般化した概念で、組み合わせ最適化で中心的な役割を果たす。特に欲張り算法 (greedy algorithm) が常に最適解を与えることと、その対象がマトロイドの構造を持っていることが必要十分条件になる。また、さらにその拡張であるポリマトロイドの理論について学ぶ。	
	修士 — —	<授業情報> 予備知識としては、線形代数の初歩的知識でじゅうぶんである。	
	博士 — —	<授業計画> Oxlay Matroid Theory, Oxford Univ. Press, 1992. の主要な章を輪読する。 <授業の方法> 学生による輪読を主体とする。 <参考書> J.G. Oxlay, Matroid Theory, Oxford Univ. Press., 1992. S. Fujishige, Submodular Functions and Optimization, Elsevier, 2005. <履修上の注意> 授業にすべて出席することを前提とする。	